

令和6年度前期公開講義 公開科目一覧

◆対面科目

☆試験レポート欄 「-」:要相談、「○」:受験・提出可、「×」:受験・提出不可、該当なし

区分	番号	科目名	担当教員	曜日	時限	条件・その他	試験	レポート	定員
人間学	1	自然科学入門	松岡 純	月	2	特になし 教室に入れる限り可	×	○	可能な限り
環境科学部	2	農薬環境学	須戸 幹	火	1	高校で習得する生物、化学の知識を十分理解していること	×	×	2
	3	土壌環境物理学	岩間 憲治	火	3	logや微積などの簡単な高校数学が理解できていると良い	○	○	10
	4	環境疫学	肥田 嘉文	水	3	特になし	○	○	若干
	5	日本建築史	高屋麻里子	木	1	試験なし レポートです	×	○	若干
	6	水質管理学	須戸 幹	木	1	高校で習得する生物、化学の知識を十分理解していること	×	×	2
	7	環境化学Ⅰ	丸尾 雅啓	金	2	高等学校化学基礎（または旧課程で理科Ⅰ、化学Ⅰ）程度の知識があることが望ましい	○	○	5
	8	海洋環境学	伴 修平	金	2	特になし	○	×	若干
	9	構造力学Ⅱ	高田 豊文	金	2	静定構造物の応力算定ができること	○	○	3
工学部	10	機器分析Ⅰ	徳満 勝久	火	1	講義を理解するには高等学校レベルの物理、化学、数学の知識が必要な箇所あり	×	○	若干
	11	量子力学概論	柳澤 淳一	火	2	特になし	×	○	5
	12	電気電子計測Ⅰ	小林 成貴	火	2	大学初年度級の電磁気学・電気回路を理解していることが望ましい	×	○	若干
	13	エネルギー・界面科学	奥 健夫	火	4	特になし	○	○	5
	14	無機化学Ⅰ	松岡 純	水	1	大学理系初年度の化学結合論の内容への理解 教室に入れる限り可	×	○	可能な限り
	15	有機化学Ⅱ	加藤真一郎	水	2	学部初年次程度の有機化学を理解していることが望ましい	×	○	5
	16	生化学Ⅱ	竹原 宗範	水	2	大学1～2年の有機化学を理解していること	○	○	若干
	17	機器分析Ⅱ	谷本 智史	木	2	高校までの有機化学と物理学を理解していること	○	○	5
	18	[大学院] 材料プロセス熱力学	松岡 純	木	2	大学理系の物理化学の内容への理解 教室に入れる限り可	×	○	可能な限り
	19	基礎力学（電子）	河崎 澄	木	3	特になし	○	○	若干
	20	半導体デバイス	一宮 正義	金	2	大学初年度の電磁気学を理解していることが望ましい	○	○	5
	21	電気回路Ⅰ	坂本 眞一	金	3	特になし 在校生に影響のない人数の受入可	○	○	可能な限り
人間文化学部	22	服装造形論	森下あおい	月	3	特になし	×	○	若干
	23	教育学概論	杉浦由香里	月	4	特になし	×	×	2～3
	24	文化人類学特論	棚瀬 慈郎	水	1	特になし	○	×	若干
	25	現場心理学	松嶋 秀明	水	4	学生をふくむ受講生同士でのディスカッションへの参加	×	○	若干
	26	アジア文化特論B	河 かおる	水	4	特になし	○	○	5
	27	アジア文化論A	ホルダギン プレザイ	水	5	2024年度のこの講座はユーラシア財団の寄付講座「ユーラシア周縁地帯における東西交流－その歴史と現実」として行われます 条件は特になし	×	○	学内学生を含めて100人程度
	28	朝鮮語コミュニケーションⅡA	河 かおる	木	2	特になし	○	○	2
	29	美術史A	亀井 若菜	木	4	特になし	○	○	若干
	30	心理学基礎	谷口 友梨	金	3	特になし	○	×	若干
	31	多文化社会論A	河 かおる	金	4	特になし	○	○	5
人間看護	32	小児看護学概論	古株ひろみ	金	1	講義は前半8回で修了します	×	×	3

◆オンデマンド科目

区分	番号	科目名	担当教員	条件・その他	定員
	101	環境疫学	肥田 嘉文	特になし	20
	102	心理学基礎	谷口 友梨	特になし	20

【シラバスの見方】 [県立大学ホームページ](#) → [学部・大学院](#) → [シラバス](#) → [USPO](#)

大学ホームページのシラバスを参考にしてください